

千葉県基本計画 第2次実施計画(案)に対する意見の概要及び市の考え方

No.	頁	分野	区分	意見の概要	意見に対する考え方	計画案への反映	
1	8	総論	3 計画の基本的な考え方 1. 策定の視点	事業選定にあたり重視すべき5つの視点に、「市民をはじめとした多様な主体の一層の連携と公共私 の 役割分担の見直しにより、多様な主体がまちづくりに挑戦」とあるが、公共私(公：行政、共：住民・NPO・ボランティア、私：企業・個人)の役割分担の見直し、特に公についての記載が見当たらない。	「公共私 の 役割分担の見直し」については、人口減少・少子高齢化に伴う地域活動や経済活動の担い手不足の中においても、公共私それぞれの暮らしを維持していくため、既存の役割分担よりも各主体の強みを生かした役割を担えるような仕組みや環境を整えることが重要であり、個々の事業を実施していくにあたって、全体を貫く基本的な考え方を示したものです。 事業を実施する際の実際の役割分担については、それぞれの事業ごとに変わるものと考えております。	—	
2	24	1 環境・自然	1-2-1 緑と水辺の活用と充実	千葉公園水辺ゾーンの再整備について、地域の住民が文化芸術活動に触れ合う機会として機能している蓮華亭を存続してほしい。	再整備にあたっては、蓮華亭が持つ、オオガハスに「ふれあい」「親しみ」「学ぶ」ことができる拠点施設としての機能を維持しつつ、水辺ゾーンが持つ魅力を最大限生かした整備を進めてまいります。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	—	
3	24	1 環境・自然	1-2-1 緑と水辺の活用と充実	千葉公園の再整備について、綿打池の「カフェハーモニー」の存続、あるいはその魅力を継承した整備を強く希望する。 カフェハーモニーの窓から眺める水辺の景色と、あのアットホームで温かい雰囲気大好きで、千葉公園を訪れる際の大切な楽しみになっている。 歴史ある千葉公園の良さを最も体現している場所の一つだと思うので、ぜひ市民の憩いの場として大切に守り続けてほしい。	再整備にあたっては、公園利用者や関係者、また民間事業者の意見を踏まえて、水辺ゾーンが持つ魅力を最大限生かした整備を進めてまいります。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	—	
4	24	1 環境・自然	1-2-1 緑と水辺の活用と充実	カフェハーモニーは、池や木々を眺めながら食事や喫茶ができる心地よい場で、障害者を雇用しており、市民にとっても、障害のある人と触れ合える場として意義のあるものとする。カフェハーモニーの存続を考慮されることを一市民として強く願う。		—	
5	24	1 環境・自然	1-2-1 緑と水辺の活用と充実	現存するカフェハーモニーは、近隣住民の憩いの場として長く愛され、また障害のある方の就労を支援しており、障害のある方の就労・社会参加の促進に資するため、水辺ゾーンの再整備にあたって、是非存続させてください。		—	
6	24	1 環境・自然	1-2-1 緑と水辺の活用と充実	障害のある方々が就労へと踏み出すための訓練の場として、職場体験実習を行っていただいている「カフェハーモニー」が、今後も現在の良さを活かした形で続いていくことを願っております。 引き続き新しい公園づくりとともに、就労を目指す方々の歩みを支える環境が、尊重されるような計画を進められることを切に願っております。		—	
7	30	2 安全・安心	2-1 災害に強いまちの基盤を整備する	防犯カメラを防犯にしか使えないというガイドラインを、防災にも使えるように変更してほしい。		防犯カメラの画像については、災害時など、人の生命、身体又は財産の安全を守るため、緊急かつやむを得ないと認められる場合には利用することができるものとしていますが、犯罪、災害又は事故を防止するなどのカメラの設置目的に照らし、いただいたご意見を参考に、今後の運用について検討してまいります。	—
8	30	2 安全・安心	2-1 災害に強いまちの基盤を整備する	災害時のために、おゆみ野にある約延長50mのハンプのある道路幅を前後の道路と同じ幅にしてバスを通して欲しい。		当該道路は、車両の減速を促すために、ハンプとしていることから、安全対策上必要なものであり、拡幅する予定はございません。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	—

千葉県基本計画 第2次実施計画(案)に対する意見の概要及び市の考え方

No.	頁	分野	区分	意見の概要	意見に対する考え方	計画案への反映
9	30	2 安全・安心	2-1 災害に強いまちの基盤を整備する	緑区のコミュニティーセンターの駐車場で内水氾濫したことがあった。防水板がなくても、せめて土嚢と防水シートを用意すべき。	大雨時などの対応については、当該施設の指定管理者と情報共有しながら状況に応じて必要な対応を行ってまいります。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	
10	84	5 地域社会	5-2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める	「町内自治会業務の負担軽減の推進」を掲げているが、住民が希望する内容は正反対である。	現在の町内自治会が抱える課題について、地域課題の多様化や加入率の減少などを背景として、地域の負担が増大するとともに、担い手不足が深刻化してきていると認識しています。 本市として、「町内自治会業務の負担軽減の推進」を通じて、今後住民の皆様と対話を図りながら、担い手確保の支援について進めてまいります。	—
11	84	5 地域社会	5-2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める	「区役所のあり方基本方針」に、行政サービスのほか、地域の課題解決や市民が主体となって進める町づくりを区役所が中心となって支援できる体制を目指す、書かれているが、それを行うだけの経験を持った職員が足りないのでは。	地域コミュニティの維持は、区役所のみならず市役所全体の課題であるため、職員一人ひとりが地域活動への理解を深めることが重要だと考えています。 そのため、職員研修において、活動事例や地域の公益活動への兼業制度、ボランティア休暇制度の周知などにより、地域活動に参加しやすい環境づくりに努め、職員の「地域スキル」の向上を図り、引き続き市民目線に立ち地域活動等に取り組む職員の育成に取り組んでまいります。	—
12	95	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	防犯街灯の維持管理を行政で行ってはどうか。 防犯街灯は町内自治会の負担で設置、維持管理をしているが、一部の住民の会費で費用を賄っている。 会費を納めている人だけが負担することは不公平であり、永久にこの関係は続く。 防犯街灯に関する費用は住民が平等に負担すべきであり、税金で賄うことが最善だと思ひ提言した。	防犯街灯は、地域の実情を把握している町内自治会等が設置及び維持管理することが効果的（設置を要する箇所に速やかに設置できることと不点灯箇所を速やかに把握できること等）であり、地域防犯力の向上に繋がるものと考えから、市は、町内自治会等が行う防犯街灯の設置及び維持管理に要する費用の一部を補助金として交付しています。 防犯街灯に係る経費すべてを公費負担とする予定はありませんが、ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	—
13	95	7 都市・交通	7-1-1 美しく心地よいまちづくりの推進	周囲のゴミステーションは、ゴミの量が多く、カラスネットや組み立て式のごみBOXからゴミがあふれ、カラスに荒らされている。 これは、集合住宅に専用のごみBOXがないため町会管理のゴミステーションに出しているからである。 これを改善するため、専用ゴミBOXの無い集合住宅は、行政からごみBOXを支給していただきたい。	現在、「千葉県共同住宅等におけるゴミステーションの設置及び清潔保持等に関する指導要綱」（平成27年10月1日施行）で、集合住宅には、原則、専用のごみステーションを設置するものとしています。 また、ごみの不適正排出に対して、集合住宅の管理者等に指導を行い、改善を促してまいります。	—
14	97	7 都市・交通	7-1-2 3都心などの魅力向上	JR千葉駅南口から、JRと京成の高架の間を通り、新町交差点までの市道について、京成千葉駅とつながる2か所の横断歩道（JR千葉駅側と京成高架下ショッピングセンター側）を廃止でき、JR千葉駅東口再開発ビル前から、JRと京成の高架下にかけての傾斜・段差が解消されることにより、東口広場から新町方面をフラットなバリアフリーとすることができるため、廃止を検討してほしい。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	—
15	112	7 都市・交通	7-3 まちの発展にテクノロジーを活かす	デジタルのみではなく、AI人材の育成は急務である。	市役所内での生成AIの活用は、文章要約や文章生成、企画立案などに限らず、様々な分野での活用を進めております。 さらには、持続的なまちづくりにおいては、AI、ビッグデータ、IoTなどのデジタル技術を活用し企業や社会に新しい価値を創造する「デジタル人材」を育成することが不可欠です。市民のデジタル対応力（デジタルレディネス）を高めるため、産官学連携し、デジタル人材育成を行ってまいります。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	—